事例No.	829
公表年度	H30
団体の属性	特別区
団体名	東京都港区

事例区分	DX

タグ	・RPA ・（行政改革）業務の効率化 ・ICT

事例種類	RPA

事例内容・タイトル

「港区AI元年」におけるICT導入事例

出典

地方自治体におけるAI・ロボティクスの活用事例

「港区AI元年」におけるICT導入事例（東京都港区） 3

本格導入

港区は「区民サービスの向上」と「働きやすい職場づくり」を実現するため、AIやRPAによる業務の自動化など、ICT（情報通信技術）を積極的に活用している。

課　題

○　港区の人口は、平成8年時点の約15万人から増加を続け平成29年には25万人を超え、2027年には30万人に達すると推計されている。人口増などに対応し、ICTを活用して質の高い区民サービスを提供するとともに、業務を効率化し働きやすい職場づくりを進めることが課題。

取　組

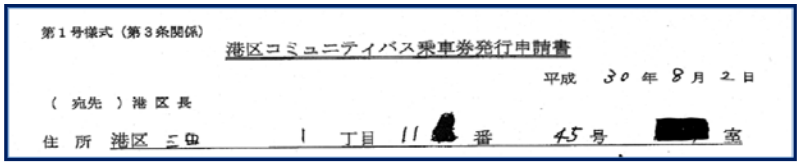
○　**RPA（平成30年2月運用開始、平成30年度内導入7事務）**

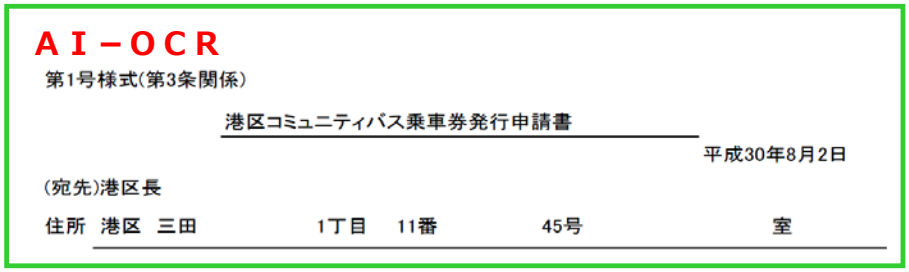
①職員の超過勤務管理事務
②産前産後家事・育児支援サービスの申請処理
③公会計システム向けデータ作成
④コミュニティバス乗車券申請書AI-OCR及びシステム入力
⑤保育園入園事務
⑥職員の出退勤管理事務
⑦契約事務

○　**AI-OCR（平成30年9月運用開始）**

コミュニティバス乗車券申請書（年間約25000枚）をAI-OCRで読取りCSVデータで出力の上、RPAを用いてシステムに自動入力及び受付簿出力を行う。AIで住所・氏名等の文字を学習させることにより、読取り精度の向上を図る。

申請書


第１号様式（第３条関係）
港区コミュニティバス乗車券発行申請書
平成　30　年　8　月　2　日
（宛先）港区長
住所　港区　三田　1　丁目　11　番　45　号　[redacted]　室



成　果

○　RPA7業務及びAI-OCRの導入により、**年間約2000時間の職員業務時間の削減を見込んでいる**。
○　**削減された業務時間を区民サービス向上のための業務に充てる**など、ICTの更なる活用による業務効率化を進める。